



経営方針 | “K” LINEグループの企業理念・ビジョン

企業理念

～グローバルに信頼されるK～

海運業を主軸とする物流企業として、人々の豊かな暮らしに貢献します。

ビジョン

全てのステークホルダーから信頼されるパートナーとして、
グローバル社会のインフラを支えることで持続的成長と企業価値向上を目指します。

“K” LINEグループが大事にする価値観

お客様を第一に考えた 安全で最適なサービスの提供	たゆまない課題解決への姿勢	専門性を追求した 川崎汽船ならではの価値の提供
変革への飽くなきチャレンジ	地球環境と 持続可能な社会への貢献	多様な価値観の受容による 人間性の尊重と公正な事業活動

沿革

1919
川崎汽船設立

1968
当社初のフルコンテナ船「ごうるでん げいと ぶりっじ」竣工

1970
日本初の自動車専用船「第十とよた丸」竣工

1983
日本籍初のLNG (液化天然ガス) 船「尾州丸」竣工

1986
北米で日本船社初のダブルスタックトレイン (コンテナ2段積み鉄道輸送) サービス開始

1994
電力炭輸送船「CORONA ACE」竣工
幅広浅喫水で日本の石炭火力発電所向け船型のスタンダードに

2015
環境長期指針「"K" LINE 環境ビジョン2050」策定
14,000TEU型コンテナ船「MILLAU BRIDGE」竣工

2016
環境フラッグシップ「DRIVE GREEN HIGHWAY」竣工

2018
Ocean Network Express (ONE) スタート

2019
風力利用の自動カイトシステム「Seawing」搭載を決定
創立100周年

2020
「"K" LINE環境ビジョン2050」改定 (P.27参照)
LNGバンカリング船「かぐや」竣工 (P.17参照)
提供: セントラルLNG マリンフェューエル社

2021
LNG燃料自動車専用船「CENTURY HIGHWAY GREEN」竣工、国内初のトランジション・ローン (脱炭素に向けた移行ファイナンス) を導入

2024
当社が運航・保有するばら積み船では初のLNGを主燃料とするケープサイズバルカー「CAPE HAYATE」竣工
地質調査船「EK HAYATE」就航 (P.17参照)
世界初の二酸化炭素回収貯留プロジェクト向け液化CO₂船「NORTHERN PIONEER」、
「NORTHERN PATHFINDER」竣工 (P.17参照)
提供: Northern Lights JV DA

▶ CONTENTS

- 1 経営方針
- 2 沿革・目次
- 01 | "K" LINE at a Glance**
- 3 財務ハイライト
- 4 財務データ
- 6 業績
- 7 主要コンテナ船会社
2024年度 通期収支実績比較

- 02 | 事業別情報**
- 8 セグメント概要
- 9 セグメント別情報とグループ運航船舶
- 10 世界海上荷動き・輸送キャパシティデータ
- 11 ドライバルク
- 14 LNG船、電力、海洋事業

- 15 油槽船、燃料事業
- 17 海洋、燃料事業、低炭素・脱炭素に向けた事業
- 18 自動車船事業
- 20 物流事業
- 21 コンテナ船事業

- 03 | ESG・サステナビリティ**
- 25 経営戦略とマテリアリティ
- 26 サステナビリティガバナンス／マネジメント体制
- 27 環境ビジョン
- 28 環境規制・環境関連データ
- 29 環境投資／デジタルトランスフォーメーション (DX)

- 30 安全運航
- 31 人権、ワーク・ライフ・バランス、ダイバーシティ
- 32 コーポレートガバナンス
- 33 ガバナンスデータ／各種開示物のご案内
- 34 外部からの評価

- 04 | 会社概要／株式情報**
- 36 事業拠点
- 37 会社概要／株式情報